



26生産第901号

平成26年6月27日

全国肉牛事業協同組合理事長 殿

農林水産省生産局農産部技術普及課長

夏季の熱中症対策について

夏季の熱中症事故は毎年発生しており、特に気温の高い7月、8月に多く発生しています。農作業中に熱中症による死亡した者の数は、平成24年度、25年度ともに21人と高水準で推移しており、熱中症対策が非常に重要となっているところです。

暑熱環境下での作業の留意点については、「農作業安全のための指針（平成14年3月29日付け13生産第10312号農林水産省生産局長通知）」においてとりまとめているところですが、熱中症の発生が急増する時期を迎えるにあたり、別紙により貴職より貴関係者に対し周知いただきますようお願いいたします。

(別紙)

夏季の熱中症対策について

夏場等の暑熱環境下での作業は、熱中症を生じるおそれがあるので、次の事項に注意して下さい。熱中症の予防は、水分をとることと、体温の上昇を抑えることが基本です。高齢の方は、特に注意をするようにして下さい。

- 1 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行って下さい。
- 2 休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行って下さい。10時と15時の休憩だけでなく、暑いときにはこまめに休憩をとることが必要です。
- 3 のどの渇きを感じる前に、水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給して下さい。
- 4 ハウス等の施設内では、気温や湿度が著しく高くなりやすいので、特に気を付けて下さい。
- 5 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をして下さい。吸汗・速乾素材の衣服や、換気可能な衣服（ファンが付いているものもあります）の利用も検討して下さい。作業着が長袖の場合が多いですが、休憩時には脱ぐことも効果があります。
- 6 作業場所には、日よけを設ける等、できるだけ日陰で作業をするようにして下さい。
- 7 屋内では遮光や断熱材の施工等により、作業施設内の温度が著しく上がらないようにするとともに、風通しをよくし、室内の換気に努めて下さい。
- 8 作業施設内に熱源がある場合には、熱源と作業者との間隔を空けるか断熱材で隔離し、加熱された空気は屋外に排気するようにして下さい。
- 9 台風等の発生や、作物の生育状態によって、暑いときでも作業を進めなければいけないことがあります。そのような場合には、特に体調の変化等に気をつけて下さい。
- 10 万が一に備える観点からも、携帯電話を必ず身につけておくようにして下さい。また、緊急連絡先も登録しておいて下さい。